○○○○：追加・修正

~~○○○○~~：削除

土木工事積算基準（平成 29 年 11 月）の一部修正　新旧比較表

現　　行（Ⅱ－２－８）

（３）　管撤去工における適用口径

表11－２　読　替　表

口径	適用口径
75	75
3 1/2”(89)	100
100	
4 ”(100)	
125	125
5 ”(125)	
150	150
6 ”(150)	
200	200
8 ”(200)	
9 ”(225)	250
250	
10”(250)	
300	300
12”(300)	
12 1/2”(318)	
350	350
14”(356)	

口径	適用口径
400	400
16”(406)	
16 1/2”(420)	
450	450
18”(457)	
500	500
20”(508)	
22”(559)	600
600	
24”(610)	
26”(660)	700
27”(686)	
700	
30”(762)	800
800	
33”(838)	

口径	適用口径
35”(889)	900
900	
36”(914)	
39”(991)	1,000
1,000	
42”(1,067)	1,100
1,100	
45”(1,143)	
1,200	1,200
48”(1,219)	
1,350	1,350
1,500	1,500
1,650	1,650
1,800	1,800
2,000	2,000
2,200	2,200

12. 管継手離脱工

管継手離脱工は、「平成29年度水道事業実務必携　第一編２－10－３鋳鉄管継手取外し歩掛表」によるものとする。

13. 管 連 絡 工

（１）管連絡工（切落連絡）

表13－１　管連絡（切落連絡）標準歩掛表　（１箇所当り）

径(㎜)	連絡所要時間(h/箇所)	労力 世話役(人)	労力 配管工(人)	労力 とび工(人)	労力 普通作業員(人)	管切断数	排水量(m³/h)	水替運転日数	クレーン 機種	クレーン 運転日数	クレーン 賃料(日)
75	1.80	1人 0.23	1人 0.23	－	2人 0.45	2	0～5	0.03	－	－	－
100	2.00	〃 0.25	〃 0.50	－	〃 0.50	2		0.08		－	－
125	2.15	〃 0.27	〃 0.54	－	〃 0.54	2		0.08		－	－
150	2.30	〃 0.29	〃 0.58	－	〃 0.58	2	5～20	0.03		－	－
200	2.50	〃 0.31	3人 0.94	－	3人 0.94	2		0.05	クレーン付トラック 4t積 2.9吊	2.50	－
250	2.70	〃 0.34	〃 1.01	－	〃 1.01	2	20～40	0.07		2.70	－

修　　正

（３）　管撤去工における適用口径

表11－２　読　替　表

口径	適用口径
75	75
3 1/2”(89)	100
100	
4 ”(100)	
125	125
5 ”(125)	
150	150
6 ”(150)	
200	200
8 ”(200)	
9 ”(225)	250
250	
10”(250)	
300	300
12”(300)	
12 1/2”(318)	
350	350
14”(356)	

口径	適用口径
400	400
16”(406)	
16 1/2”(420)	
450	450
18”(457)	
500	500
20”(508)	
22”(559)	600
600	
24”(610)	
26”(660)	700
27”(686)	
700	
30”(762)	800
800	
33”(838)	

口径	適用口径
35”(889)	900
900	
36”(914)	
39”(991)	1,000
1,000	
42”(1,067)	1,100
1,100	
45”(1,143)	
1,200	1,200
48”(1,219)	
1,350	1,350
1,500	1,500
1,650	1,650
1,800	1,800
2,000	2,000
2,200	2,200

12. 管継手離脱工

管継手離脱工は、「平成29年度水道事業実務必携　第一編２－10－３鋳鉄管継手取外し歩掛表」によるものとする。

13. 管 連 絡 工

（１）管連絡工（切落連絡）

表13－１　管連絡（切落連絡）標準歩掛表

径(㎜)	連絡所要時間(h/箇所)	労力 世話役(人)	労力 配管工(人)	労力 とび工(人)	労力 普通作業員(人)	管切断数	排水量(m³/h)	水替運転日数	クレーン 機種	クレーン 運転時間	クレーン 賃料(日)
75	1.80	1人 0.23	1人 0.23	－	2人 0.45	2	0～5	0.03	－	－	－
100	2.00	〃 0.25	2人 0.50	－	〃 0.50	2		0.08		－	－
125	2.15	〃 0.27	〃 0.54	－	〃 0.54	2		0.08		－	－
150	2.30	〃 0.29	〃 0.58	－	〃 0.58	2	5～20	0.03		－	－
200	2.50	〃 0.31	3人 0.94	－	3人 0.94	2		0.05	クレーン付トラック 4t積 2.9吊	2.50	－
250	2.70	〃 0.34	〃 1.01	－	〃 1.01	2	20～40	0.07		2.70	－

備考（内容）

歩掛の見直し

○○○○：追加・修正

~~○○○○~~：削除

土木工事積算基準（平成 29 年 11 月）の一部修正　新旧比較表

現　　行（Ⅱ－２－９）

径(㎜)	連絡所要時間(h/箇所)	労力 世話役(人)	労力 配管工(人)	労力 とび工(人)	労力 普通作業員(人)	管切断数	排水量(m³/h)	水替運転日数	クレーン 機種	クレーン 運転日数	クレーン 賃料(日)
300	3.00	〃 0.38	4人 1.50	－	4人 1.50	3	20～40	0.11	クレーン付トラック 4t積 2.9吊	3.00	－
400	3.60	〃 0.45	〃 1.80	1人 0.45	〃 1.80	3		0.06	トラッククレーン油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	－	0.450
500	4.20	〃 0.53	〃 2.63	〃 0.53	〃 2.63	3	40～120	0.09		－	0.525
600	4.80	〃 0.60	5人 3.00	〃 0.60	5人 3.00	3		0.17		－	0.600
700	5.40	〃 0.68	〃 3.38	〃 0.68	〃 3.38	3		0.23		－	0.675
800	6.00	〃 0.75	〃 3.75	〃 0.75	〃 3.75	3		0.24		－	0.750
900	6.20	〃 0.78	〃 3.88	〃 0.78	〃 3.88	3	120～210	0.22		－	0.775
1,000	6.50	〃 0.81	6人 4.88	2人 1.63	6人 4.88	3	210～330	0.25	ラフテレーンクレーン油圧伸縮ジブ型 16t吊	－	0.813
1,100	6.80	〃 0.85	〃 5.10	〃 1.70	〃 5.10	3		0.22		－	0.850
1,200	7.10	〃 0.89	〃 5.33	〃 1.78	〃 5.33	3		0.23		－	0.888
1,350	7.50	〃 0.94	〃 5.63	〃 1.88	〃 5.63	3		0.26		－	0.938
1,500	8.00	〃 1.00	〃 6.00	〃 2.00	〃 6.00	3	330～450	0.30		－	1.000

注）１．φ200以下は水替工（１）を、φ250以上は水替工（２）を適用する。

２．クレーン賃料日数は、連絡所要時間／一日作業時間で計算する。一日の作業時間は８時間とする。

３．管切断歩掛は、上表の管切断数を、φ500以下で溝切り加工を必要としない場合は５．（１)エンジンカッター使用とし、それ以外の場合は５．（１)パイプ切削切断機使用として別途計上する。

４．管連絡に伴う管継手工は別途計上する。

５．継手離脱により管連絡を行う場合は、管切断工に代えて、継手離脱工を必要箇所計上するものとする。

６．歩掛には、連絡箇所の管撤去工を含む。

（２）　不断水連絡工

ア．不断水連絡工は、次のとおりとする。

不断水連絡工＝割Ｔ字管製作工（材料）＋割Ｔ字管取付工

イ．割Ｔ字管取付工は、表13－２を標準とする。

ただし、表13－２に適用口径（本管及び取出口径）が無い鋳鉄製割Ｔ字管及び鋼板製割Ｔ字管は見積りによるものとする。

ウ．割Ｔ字管製作工（材料）は、見積りによるものとする。

エ．表13-２適用口径（本管及び取出口径）が無い鋳鉄製割Ｔ字管及び鋼板製割Ｔ字管については、材料費・取付費とも共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。

修　　正

径(㎜)	連絡所要時間(h/箇所)	労力 世話役(人)	労力 配管工(人)	労力 とび工(人)	労力 普通作業員(人)	管切断数	排水量(m³/h)	水替運転日数	クレーン 機種	クレーン 運転時間	クレーン 賃料(日)
300	3.00	〃 0.38	4人 1.50	－	4人 1.50	3	20～40	0.11	クレーン付トラック 4t積 2.9吊	3.00	－
400	3.60	〃 0.45	〃 1.80	1人 0.45	〃 1.80	3		0.06	トラッククレーン油圧伸縮ジブ型 4.9t吊	－	0.450
500	4.20	〃 0.53	5人 2.63	〃 0.53	5人 2.63	3		0.09		－	0.525
600	4.80	〃 0.60	〃 3.00	〃 0.60	〃 3.00	3	40～120	0.17		－	0.600
700	5.40	〃 0.68	〃 3.38	〃 0.68	〃 3.38	3		0.23		－	0.675
800	6.00	〃 0.75	〃 3.75	〃 0.75	〃 3.75	3		0.24		－	0.750
900	6.20	〃 0.78	〃 3.88	〃 0.78	〃 3.88	3	120～210	0.22		－	0.775
1,000	6.50	〃 0.81	6人 4.88	2人 1.63	6人 4.88	3		0.25	ラフテレーンクレーン油圧伸縮ジブ型 16t吊	－	0.813
1,100	6.80	〃 0.85	〃 5.10	〃 1.70	〃 5.10	3	210～330	0.22		－	0.850
1,200	7.10	〃 0.89	〃 5.33	〃 1.78	〃 5.33	3		0.23		－	0.888
1,350	7.50	〃 0.94	〃 5.63	〃 1.88	〃 5.63	3		0.26		－	0.938
1,500	8.00	〃 1.00	〃 6.00	〃 2.00	〃 6.00	3	330～450	0.30		－	1.000

注）１．φ200以下は水替工（１）を、φ250以上は水替工（２）を適用する。

２．クレーン賃料日数は、連絡所要時間／一日作業時間で計算する。一日の作業時間は８時間とする。

３．管切断歩掛は、上表の管切断数を、φ500以下で溝切り加工を必要としない場合は５．（１)エンジンカッター使用とし、それ以外の場合は５．（１)パイプ切削切断機使用として別途計上する。

４．管連絡に伴う管継手工は別途計上する。

５．継手離脱により管連絡を行う場合は、管切断工に代えて、継手離脱工を必要箇所計上するものとする。

６．歩掛には、連絡箇所の管撤去工を含む。

（２）　不断水連絡工

ア．不断水連絡工は、次のとおりとする。

不断水連絡工＝割Ｔ字管製作工（材料）＋割Ｔ字管取付工

イ．割Ｔ字管取付工は、表13－２を標準とする。

ただし、表13－２に適用口径（本管及び取出口径）が無い鋳鉄製割Ｔ字管及び鋼板製割Ｔ字管は見積りによるものとする。

ウ．割Ｔ字管製作工（材料）は、見積りによるものとする。

エ．表13-２適用口径（本管及び取出口径）が無い鋳鉄製割Ｔ字管及び鋼板製割Ｔ字管については、材料費・取付費とも共通仮設費及び現場管理費の対象外とする。

備考（内容）

歩掛の見直し

○○○○：追加・修正

土木工事積算基準（平成 29 年 11 月）の一部修正　新旧比較表

~~○○○○~~：削除

現　行（Ⅱ－２－１８）

（３） 鋼管継手工（裏当て溶接）

ア．一般埋設継手工の歩掛は、次表を標準とする。

表８－３　一般埋設鋼管継手工標準歩掛

呼び径			単位	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,600	1,650	1,800	1,900	2,000
板厚			㎜	8.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	14.0	15.0	15.0	16.0	17.0	18.0
溶接費	労務費	溶接工	人	1.04	1.16	1.46	1.82	2.20	2.74	3.68	4.33	4.43	5.28	6.10	6.91
		特殊作業員	〃	2.08	2.11	2.41	2.73	3.30	4.11	4.91	5.77	5.91	7.04	7.93	8.29
		土木一般世話役	〃	0.95	0.95	0.98	1.11	1.12	1.14	1.35	1.44	1.48	1.76	1.97	2.07
	材料費及び器具損料	交流溶接の場合		3.5		4.0	4.5	5.0		5.5		6.0			6.5
		直流溶接の場合		6.5	7.0	8.0	9.0	9.5	10.0	11.0		11.5			12.0
	小計														
内面塗装費	労務費	塗装工	人	1.08	1.08	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61	2.63	2.63
	材料費	無溶剤エポキシ樹脂	kg	1.04	1.18	1.30	1.43	1.57	1.76	1.95	2.09	2.15	2.34	2.47	2.61
	消耗品費及び工具損料		%	材料費の75％									材料費の100%		
	小計														
外面塗装費	労務費	塗装工	人												
	材料費	ジョイントコート	個												
	消耗品費及び工具損料		%												
	小計														
合計															

（注）１．本表溶接歩掛は、呼び径800㎜以上で内面Ｖ開先裏当て溶接（トンネル内配管等）の場合に適用するものとする。

２．材料費及び器具損料とは、溶接棒、酸素、アセチレン、直流溶接機の場合の軽油及び油脂類、交流溶接機の場合の電力料金、当該機械器具（ディーゼルエンジン付アーク溶接機、交流型アーク溶接機）損料、消耗品及び工具一式のことである。

また、材料費及び器具損料費率（％）は、労務費に乗じるものである。

３．消耗品及び工具一式とは、ワイヤーブラシ、絶縁テープ、遮光ガラス、革手袋、ウェスの他雑品及び工具類等を含む。

４．本表は、トンネル内配管の標準を示したもので、現状の状況に応じて割り増しすることができる。

５．板厚が異なる場合は、「平成29年度水道事業実務必携　第一編２－４－５第７表板厚補正係数」により補正する。

６．内面エポキシ樹脂塗装は、無溶剤エポキシ樹脂0.4㎜塗りとする。

修　正

（３） 鋼管継手工（裏当て溶接）

ア．一般埋設継手工の歩掛は、次表を標準とする。

表８－３　一般埋設鋼管継手工標準歩掛

呼び径			単位	800	900	1,000	1,100	1,200	1,350	1,500	1,600	1,650	1,800	1,900	2,000
板厚			㎜	8.0	8.0	9.0	10.0	11.0	12.0	14.0	15.0	15.0	16.0	17.0	18.0
溶接費	労務費	溶接工	人	1.04	1.16	1.46	1.82	2.20	2.74	3.68	4.33	4.43	5.28	6.10	6.91
		特殊作業員	〃	2.08	2.11	2.41	2.73	3.30	4.11	4.91	5.77	5.91	7.04	7.93	8.29
		土木一般世話役	〃	0.95	0.95	0.98	1.11	1.12	1.14	1.35	1.44	1.48	1.76	1.97	2.07
	材料費及び器具損料	交流溶接の場合		3.5		4.0	4.5	5.0		5.5		6.0			6.5
		直流溶接の場合		6.5	7.0	8.0	9.0	9.5	10.0	11.0				11.5	12.0
	小計														
内面塗装費	労務費	塗装工	人	1.08	1.08	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61	1.61	2.63	2.63
	材料費	無溶剤エポキシ樹脂	kg	1.04	1.18	1.30	1.43	1.57	1.76	1.95	2.09	2.15	2.34	2.47	2.61
	消耗品費及び工具損料		%	材料費の75％									材料費の100%		
	小計														
外面塗装費	労務費	塗装工	人												
	材料費	ジョイントコート	個												
	消耗品費及び工具損料		%												
	小計														
合計															

（注）１．本表溶接歩掛は、呼び径800㎜以上で内面Ｖ開先裏当て溶接（トンネル内配管等）の場合に適用するものとする。

２．材料費及び器具損料とは、溶接棒、酸素、アセチレン、直流溶接機の場合の軽油及び油脂類、交流溶接機の場合の電力料金、当該機械器具（ディーゼルエンジン付アーク溶接機、交流型アーク溶接機）損料、消耗品及び工具一式のことである。

また、材料費及び器具損料費率（％）は、労務費に乗じるものである。

３．消耗品及び工具一式とは、ワイヤーブラシ、絶縁テープ、遮光ガラス、革手袋、ウェスの他雑品及び工具類等を含む。

４．本表は、トンネル内配管の標準を示したもので、現状の状況に応じて割り増しすることができる。

５．板厚が異なる場合は、「平成29年度水道事業実務必携　第一編２－４－５第７表板厚補正係数」により補正する。

６．内面エポキシ樹脂塗装は、無溶剤エポキシ樹脂0.4㎜塗りとする。

備考（内容）

歩掛の見直し

○○○○：追加・修正

土木工事積算基準（平成 29 年 11 月）の一部修正　新旧比較表

~~○○○○~~：削除

現　　行（Ⅱ－２－１９）

（４）　ジョイントコート（現場塗装）工

「平成 29 年度水道事業実務必携　第一編２－４－８外面塗装歩掛表（ジョイントコート）」によるものとする。

（５）　ステンレス鋼管溶接工

「平成29年度水道事業実務必携　第一編２－４－６ステンレス鋼管電気溶接歩掛表」によるものとする。

（６）　内面塗装工

内面塗装工は、次表を標準とする。

呼び径（mm）	内面塗装費 0.4mm 管円周部（１口当り） 労務費 塗装工（人）	材料費 無溶剤型エポキシ樹脂（kg）	材料費 消耗品及び工具損料	管軸方向部（1m²当り） 労務費 塗装工（人）	材料費 無溶剤型エポキシ樹脂（kg）	材料費 消耗品及び工具損料
800	1.08	1.04	材料費の75%	1.60	1.73	材料費の75%
900	〃	1.18				
1,000	1.61	1.30				
1,100	〃	1.43				
1,200	〃	1.57				
1,350	〃	1.76				
1,500	1.61	2.70	材料費の75%			
1,600	〃	2.89				
1,800	〃	3.32				

（注）水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗装（厚 0.4mm）の使用量＝塗装面積×1.73 kg／m²

修　　正

（４）　ジョイントコート（現場塗装）工

「平成 29 年度水道事業実務必携　第一編２－４－８外面塗装歩掛表（ジョイントコート）」によるものとする。

（５）　ステンレス鋼管溶接工

「平成29年度水道事業実務必携　第一編２－４－６ステンレス鋼管電気溶接歩掛表」によるものとする。

（６）　内面塗装工

内面塗装工は、次表を標準とする。

呼び径（mm）	内面塗装費 0.4mm 管円周部（１口当り） 労務費 塗装工（人）	材料費 無溶剤型エポキシ樹脂（kg）	材料費 消耗品及び工具損料	管軸方向部（1m²当り） 労務費 塗装工（人）	材料費 無溶剤型エポキシ樹脂（kg）	材料費 消耗品及び工具損料
800	1.08	1.04	材料費の75%	1.60	1.73	材料費の75%
900	〃	1.18				
1,000	1.61	1.30				
1,100	〃	1.43				
1,200	〃	1.57				
1,350	〃	1.76				
1,500	1.61	1.95	材料費の75%			
1,600	〃	2.09				
1,650	〃	2.15				
1,800	〃	2.34	材料費の100%			
1,900	2.63	2.47				
2,000	〃	2.61				

（注）水道用無溶剤型エポキシ樹脂塗装（厚 0.4mm）の使用量＝塗装面積×1.73 kg／m²

備考（内容）

歩掛の見直し